

令和4年度秋季特別展 開館30周年記念

里帰り！日本最大の銅鐸

太古の響きを
安土の地で

令和4年 10月8日(土) - 11月20日(日)

◆開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ◆休館日 10月11日(火)・17日(月)・24日(月)・31日(月)・11月7日(月)・14日(月)
◆入館料 大人900円(690円) / 高大生640円(470円) / 小中生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)460円(350円) ※()は20人以上の団体料金です。
◆主催 滋賀県立安土城考古博物館・京都新聞 ◆特別協力 国立文化財機構文化財活用センター・東京国立博物館
※必ずマスクを着用して下さい。発熱・カゼ症状のある方は入館をお断りしております。

大岩山出土 写真提供 東京国立博物館蔵 (Image: TNM Image Archives)

近江風土記の丘



滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

里帰り！日本最大の銅鐸

太古の響きを安土の地で

安土城考古博物館の開館30周年を記念する秋季特別展では、滋賀県を代表する考古遺物である大岩山銅鐸を紹介します。

大岩山銅鐸とは、野洲市大岩山から明治14年に14点、昭和37年に10点の合計24点が出土した銅鐸です。ごく近接した地点から出土していて、島根県加茂岩倉遺跡から39点の銅鐸が発見されるまでは、全国でもっとも多い銅鐸出土場所でした。多数銅鐸の埋納例はほとんどが弥生時代中期の銅鐸であるのに対して、大岩山銅鐸は巨大化した後期のものです。後期の銅鐸多数埋納遺跡としては全国でも突出した例です。そのなかには日本最大の銅鐸も含まれていました。邪馬台国が現れる直前の段階に、なぜ近江の地に大量の銅鐸が埋納されたのでしょうか。

今回は東京国立博物館が所蔵する日本最大の銅鐸をはじめとする大岩山銅鐸を集め、これを軸にしてその前後の時代に近江の地が担ったと考えられる歴史的な役割を探ってみます。



大岩山遺跡出土銅鐸（野洲市歴史民俗博物館提供）



大岩山出土流水文銅鐸（当館所蔵）



県内最古級の前方後円墳 雪野山古墳出土銅鏡（東近江市教育委員会所蔵 同教委提供）



日本最小の小銅鐸 下鈎遺跡出土（滋賀県提供）



県内最古の新庄銅鐸（倉敷考古館所蔵 同館提供）



昭和37年大岩山銅鐸発見時の調査のようす（滋賀県提供）



伊勢遺跡発掘調査のようす（守山市教育委員会提供）

【主な展示資料】

明治14年出土大岩山銅鐸（東京国立博物館所蔵2点（重文）、辰馬考古資料館所蔵2点（重文）、天理参考館所蔵1点、知恩院所蔵1点、國學院大學博物館所蔵1点）
昭和37年出土大岩山銅鐸（当館所蔵10点（重文）、新庄銅鐸（倉敷考古館所蔵（重文））、山面銅鐸（東京国立博物館所蔵）、古富波山古墳出土銅鏡（個人蔵）
大岩山第二番山林古墳出土銅鏡（東京国立博物館所蔵）、大岩山古墳出土銅鏡（知恩院所蔵）ほか



日本最大の大岩山銅鐸 134cm
（東京国立博物館所蔵 ColBase: <https://colbase.nich.go.jp/>）

秋季特別展関連博物館講座

① 10月15日（土）13:30～15:00

「大岩山銅鐸と弥生時代の祭祀」

講師：井上洋一氏（奈良国立博物館 館長）

② 11月5日（土）13:30～15:00

「弥生時代後期の近江と大和」

講師：桑原久男氏（天理大学文学部 教授）

※いずれも当館2階セミナールーム

参加費：300円 定員：50名

※往復はがきによる事前申込制（受付先着順）

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。

最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。



〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678
Tel. 0748-46-2424 Fax. 0748-46-6140
e-mail: gakugei@azuchi-museum.or.jp
URL: <https://www.azuchi-museum.or.jp>



※滋賀県立安土城考古博物館は、(公財)滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

新型コロナウイルス感染症の状況により、やむなく会期を変更する場合があります。

最新の情報は当館のホームページにてご確認ください。

<https://www.azuchi-museum.or.jp>

安土城考古博物館